

総務大臣が本校を訪問してくださいました。

6月8日(土)～7日(日)につくば市で開催される「**G20 貿易・デジタル経済大臣会合**」に関する視察で、5月29日(水)の午後、**石田真敏総務大臣**が本校に来てくださり、6月8日に提言を述べるチーム(5年次生6名)を激励してくださいました。

私の役目は、**柴原宏一茨城県教育長**と一緒に玄関でお出迎えし、応接室で懇談することでした。懇談のあと、石田大臣には、6名の生徒と会って、提言内容の説明を聞いていただきました。生徒の質問にもたいへん丁寧にお答えいただきました。最後に生徒たちは、大臣から**G20のバッジ**と大臣の**名刺**をいただいていた。生徒たちにとって、一生の思い出となる一日になったことでしょう(私にとっても[^]_^!)。

今回の提言をまとめるために、3月に当時の4年次生全員で、**貿易やデジタルに関する授業**を実施しました。アクティブ・ラーニング型で、付箋を使ってグループワークで意見をまとめていく授業でした。その中で、とてもいい意見を出した現代社会に関心の高い生徒と、英語が堪能な生徒を選出し、6名によるチームを作りました。そして、デジタル技術も応用した「**食品ロス**」削減対策についての提言をまとめました。6月8日当日は、5年次の**竹内響さん**が**英語**で提言を述べます。このように**G20という国際会議**において、提言を発表する機会をいただいたことは、日頃の並木中等生の活躍の結果だと思います。ぜひ、日本の高校生を代表して堂々と発表してきて欲しいと思います。



総務相 つくば視察
G20会合に向け

つくば市で6月8、9日に開催される主要20か国・地域(G20)の「貿易・デジタル経済相会合」に向けて、デジタル技術や情報通信を所管する石田総務相が29日、同市の県立並木中等教育学校や会場のつくば国際会議場を視察した。

会合では、同校の生徒6人が、本来は食べられるのに廃棄してしまう「食品ロス」の削減対策について提言する予定。石田総務相に面会した生徒が、ドローンや人工知能(AI)を使って余った食品を必要としている人に届けるといった内容

容を説明すると、石田総務相は「大きな計画。重要な会合になるので高校生の代表として頑張ってほしい」と応じた。

その後、同会議場で大井川知事らと会談した石田総務相は「AIで市民が不安に感じているのは仕事が奪われ格差社会ができるのでは、ということ。どういう影響が出てどう対応するか、(会合で)テーマとして投げかけたい」と述べた。

大井川知事は会談で「自治体としてはいかにAIを含めたデジタル経済の波に乗って経済の発展につなげていくか、一生懸命やりたい」と話していた。

G20の会合で食品ロス対策について提言する高校生と面談する石田総務相(中央)(県立並木中等教育学校で)



■2019年5月30日付け読売新聞29面より